



チャレンジ！！オープンガバナンス2018 応募アイデア

**みんなの縁を結び、感謝と恩を贈り合う多摩ニュータウンを
創る「未知プラットフォーム」**

2019年3月10日 多摩市若者会議(東京都多摩市)

多摩ニュータウンについて

1.



イメージは？

多摩ニュータウンは
全国でも特に高齢化が進んでいる

本当にそうでしょうか？

多摩ニュータウンは
全国でも特に高齢化が進んでいる

本当にそうでしょうか？

28.1% < 28.4%

多摩市

全国

(2018年12月1日現在)

意外と近い多摩ニュータウン



多摩ニュータウン(多摩市域)上空写真



多摩ニュータウン一次入居地区の現在(永山)

2018年に大幅に改善!

新宿から最速**27**分 (通勤時**37**分・京王ライナー**21**分)

開発面積約**2884**ha (東京ドーム**616**個分)



緑と遊歩道に囲まれた公園で子供もののびのび



ニュータウンの遊歩道なら小さい子供も安心



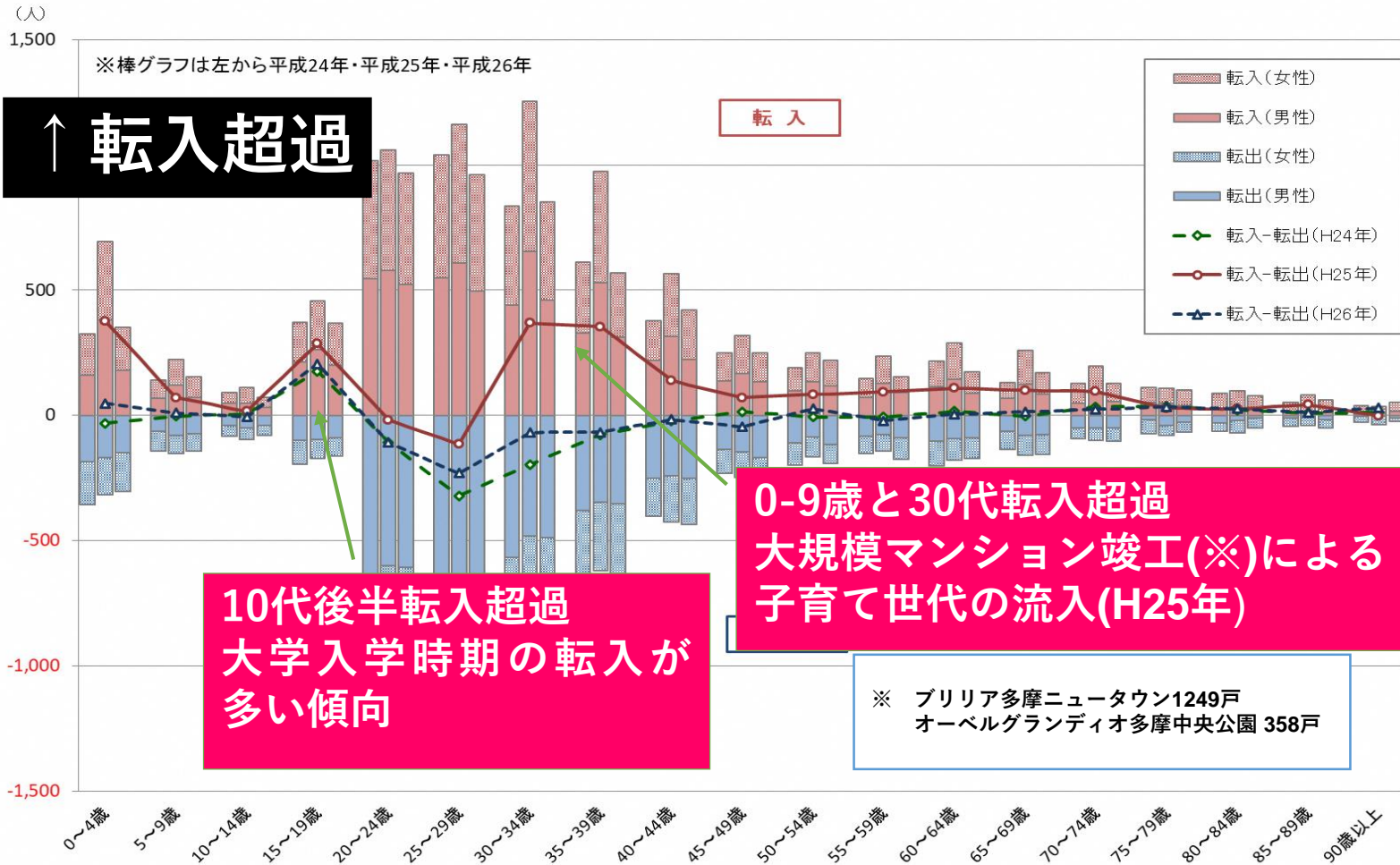
良好な都市インフラ

高度成長期の子育ての場？

↓ No ↓

今も新築マンションができると子育て世代が流入

多摩市の転入の特徴(平成24～26年)



出典： 総務省 住民基本台帳移動報告

■多摩市の年齢階級別 転入・転出の状況(平成24～26年)

● 新築マンションが建設されると子育て世代が流入

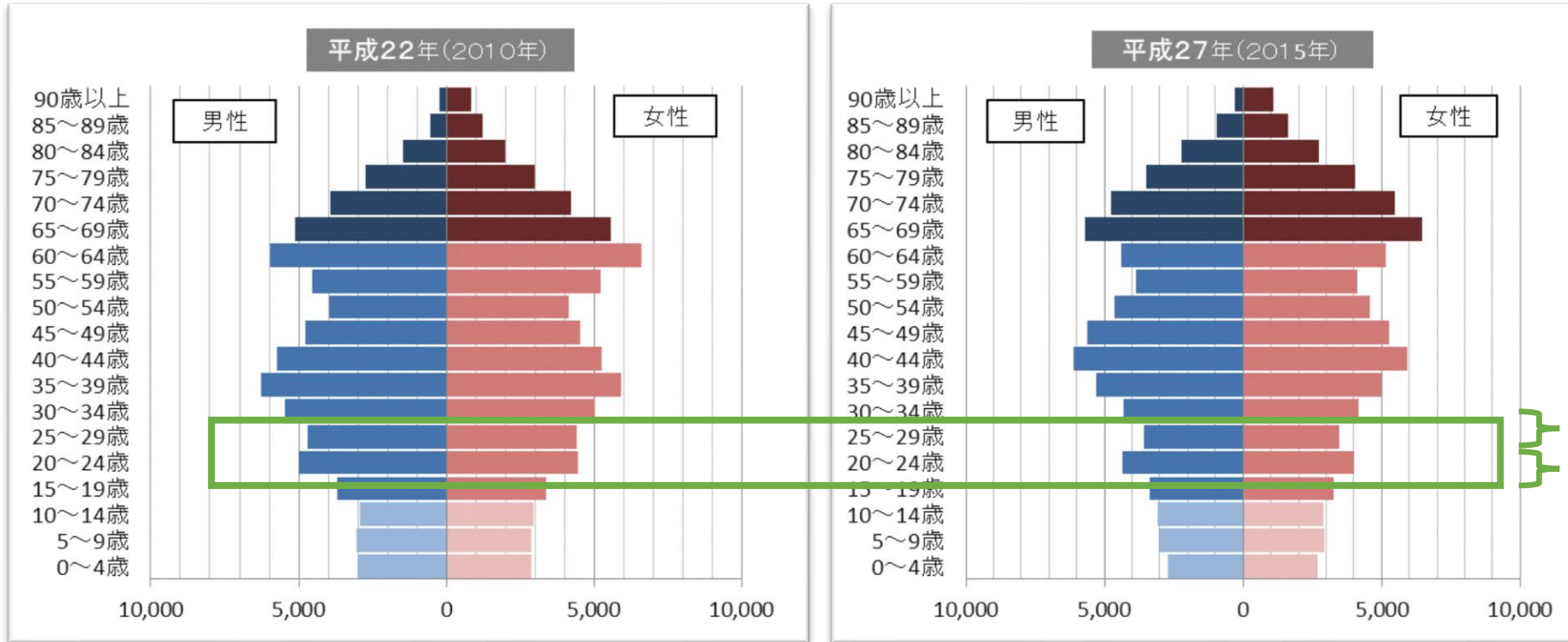
新規竣工年の特徴

● 10代後半は常に転入超過

大学入学時の転入

実は大学生も多い、しかし

■多摩市の人口ピラミッド(平成22年、27年国勢調査)



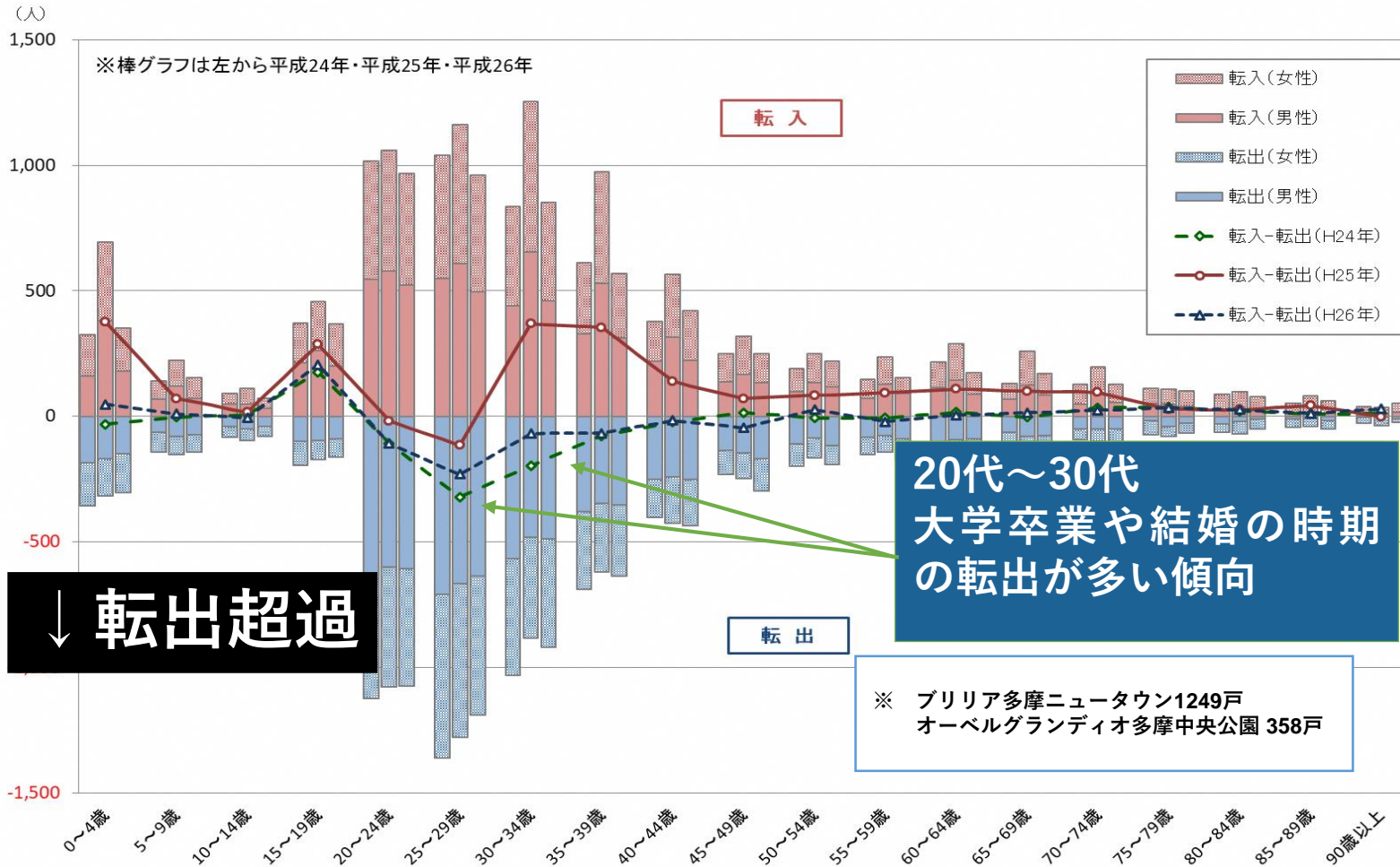
周辺にたくさんの
大学が立地！

平成22年に居た世代が減少

近隣大学在学中の学生の存在

大学時代は多摩 ⇒ 就職を機に多摩市外に転出

多摩市の転出の特徴(平成24～26年)



出典： 総務省 住民基本台帳移動報告

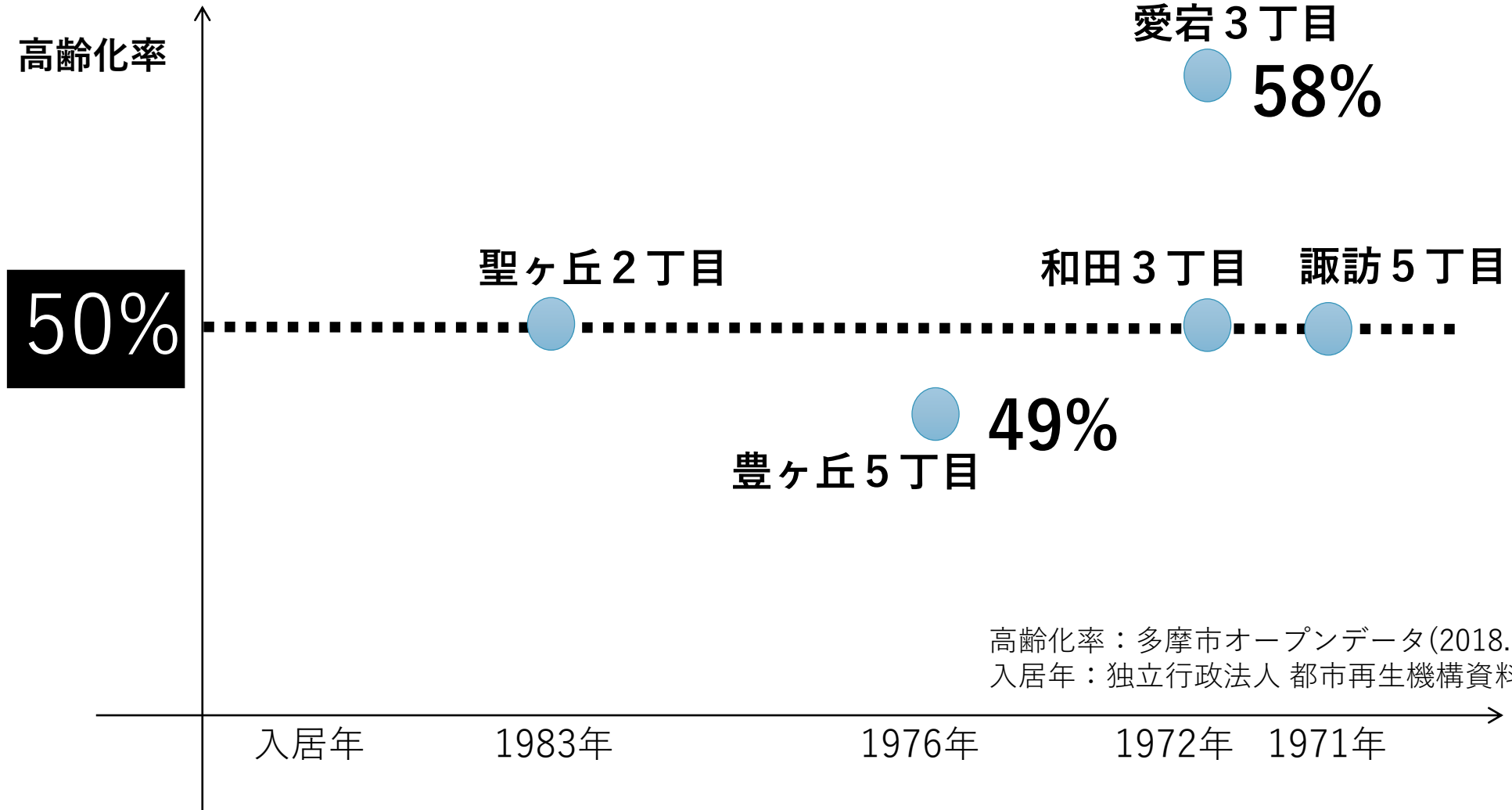
■多摩市の年齢階級別 転入・転出の状況(平成24～26年)

- 新築マンションが建設されない年は若者・子育て世代は転出超過

転出が基調

- 20代後半は常に転出超過
若者世代は地域に魅力を感じない？

一部地区では50%超の高齢化率



高齢化率：多摩市オープンデータ(2018.10.1)から算出
入居年：独立行政法人 都市再生機構資料

町丁目別高齢化率トップ5

前スライドで取り上げた高齢化の進む地区の空家率は約5~9%

同地区のエレベーターの無い集合住宅の多くが5階建

**確実に上層階に暮らす
高齢者が存在！**



一次入居地区の団地の階段 (UR永山団地)

困りごとを抱えている高齢者の存在

新築マンションができると
子育て層は転入する

新築マンションができないと
子育て層は転出する

大学入学で転入

大学卒業で転出

新規入居者を仲間に！

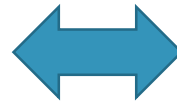
留めさせる魅力を地域
に！

(仮説)

地域の課題は「若者・子育て世代」・「高齢者」・「地域」の分断にある？

■ 地域の「課題」

- ・ 若者と地域の接点が少ない
- ・ 若者には魅力・チャンスが少ない
- ・ EVのない団地で暮らす高齢者がいる
- ・ 子育て世代や若者が団地に入居しない
- ・ 新築マンションは作り続けられない



■ 若者・子育て世代の「行動」

- ・ 職場に近いところを好んで暮らす
- ・ 子育て世帯は新築マンションに
- ・ 共働き世帯の増加
- ・ 他世代との交流を望む声も
- ・ 住んだら満足度は高い

**若者と地域の接点を作って、
若者・子育て世代が高齢者と交流でき、
お互いが助け合えればWin-Win！**

多摩市若者会議について

2.



目標は、若者・子育て世代にとって多摩市をもっと魅力的な街にしていくこと！

- ・ 多摩市の事業として2017(平成29)年スタート
- ・ ファシリテーターは、林田 暢明 氏（総務省地域資源・事業化支援アドバイザー）
- ・ 参加資格は39歳以下であれば居住地は問わない。ボランティア。
- ・ アイデアを出して終わりではなく、提案者自らプロジェクトを企画・立案し、実践していくのが特徴



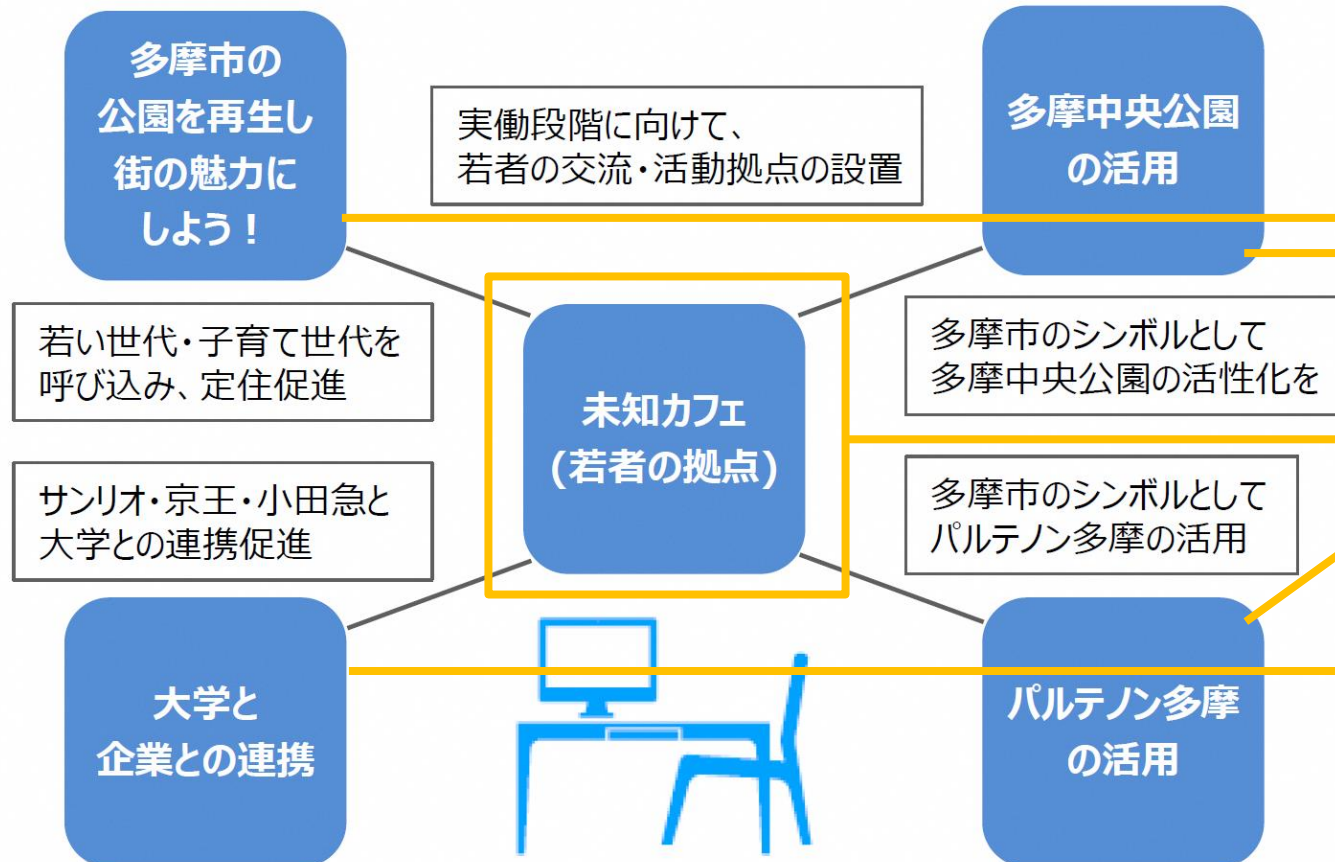
ワークショップの例



2017年度の提言の実行状況

2018年は中心となる「未知カフェ」の開設に注力しつつ、その他の提言も実行中。今後は「まちづくり」のソフト面に全力で取り組みます。

■ 2017年度の多摩市への提言内容



■ 2018年度の主な活動

- ・ワークショップ等で引き続きアイデアを検討・深化
- ・「未知プラットフォーム」(COG2018応募アイデア)

- ・若者会議メンバーのワークショップ参加
- ・11月の社会実験で若者会議案を試行
- ・8月に自然資源を活用したイベントを開催
- ・クラウドファンディングで「未知カフェ」を整備
- ・若者会議メンバーのワークショップ参加
- ・2月に小田急電鉄様と共催イベントを開催 (多摩市若者会議×小田急電鉄親子見学会)
- ・多摩市立青陵中学校でタイアップ授業 中学生版若者会議と言える街づくり実践授業

未知プラットフォーム

3.



3.未知プラットフォーム

「未知プラットフォーム」

1.「未知カフェ」

プロジェクト拠点

若者が地域と出
会う場

物理的な場

+

2.「未知スタンプ」

企業・商店の参画
きっかけ

地域課題解決の
インセンティブ

きっかけ

+

3.「未知ポイント」+
「マッチングシステム」

支え合いの仕組み

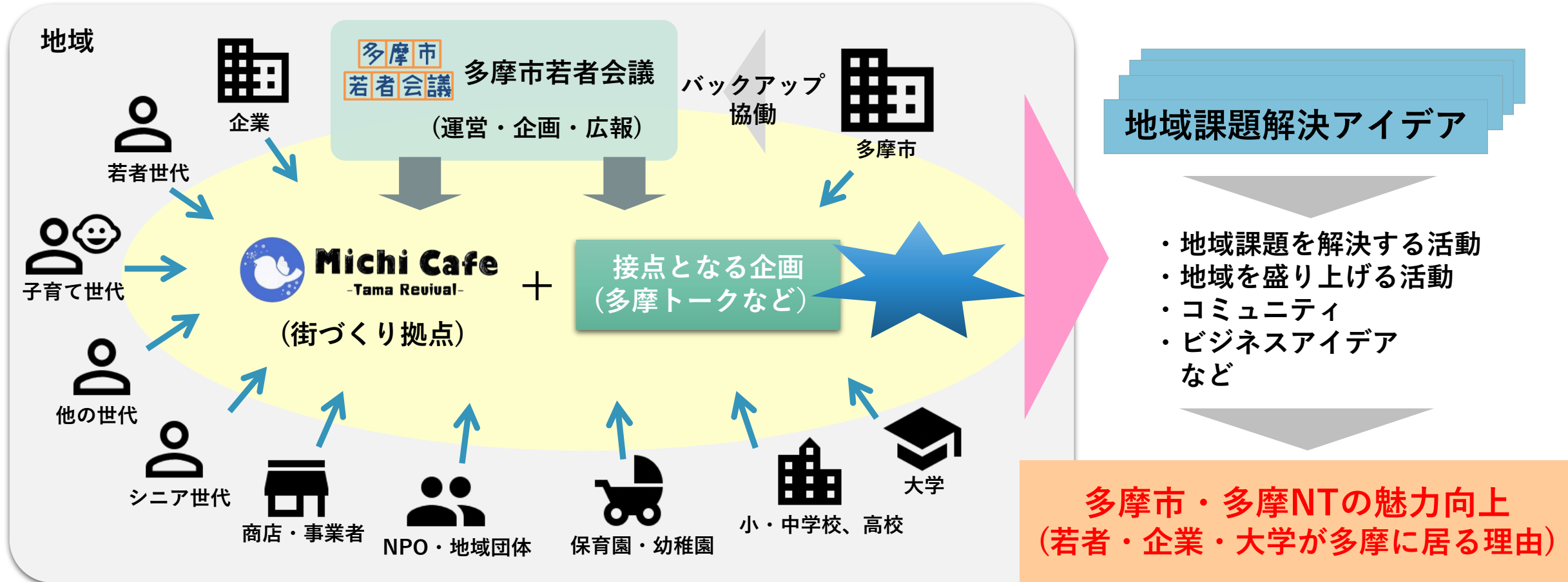
地域に流通する感
謝の見える化

持続性

学生も子育て世代もシニア世代も安心して住み続けられる、
みんなが住みたい「多摩ニュータウン」を創造する！

3-1.未知カフェ 「未知カフェ」のコンセプト

「未知カフェ」(ハード)と地域メンバーの接点となる企画(ソフト)から、未知との遭遇が生まれ、地域課題解決アイデアや地域を盛り上げる企画を生み出します。



3-1.未知カフェ 若者と地元立地企業との協働・マッチング

学生と地元立地企業・周辺企業との協働やマッチングの場を設け、卒業後も地域で活躍する人材を増やします。

これまでの活動にて、約10の事業者とコラボレーションに向けた対話の場を設ける事の承諾を得ています。

■第一弾として、市内を走る小田急電鉄とコラボレーションしたイベント2月に開催



多摩市若者会議 × 小田急電鉄 親子見学会(2019/2/16)

3-1.未知カフェ 次世代の地域参画意識育成の場

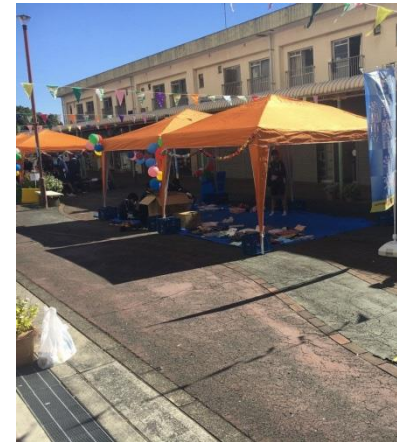
「未知カフェ」を中心としたコミュニティに集う企業・学生がコラボレーションし、チューターになることで次世代の地域参画意識を育成します。

■多摩市立青陵中学校にて多摩市若者会議メンバーのファシリテーションによるタイアップ授業

- ・多摩市若者会議と同じファシリテーション手法で中学生が街づくりを実践する中学生版「若者会議」
- ・多摩市若者会議メンバーが指導役



若者会議メンバーのファシリテーションで多摩市を元気にするアイデアを検討



中学生自らアイデアを実践。
写真は団地商店街でバザー
を開催したチーム



特定のテーマについて会話する施策(多摩トーク)などから、既存コミュニティの枠組みの中からは生まれにくかった有機的な地域課題解決アイデアや地域を盛り上げる企画を立案・実施します。

「多摩トーク」イメージ

公園大掃除イベント

地域課題解決施策

公園にごみが多い!

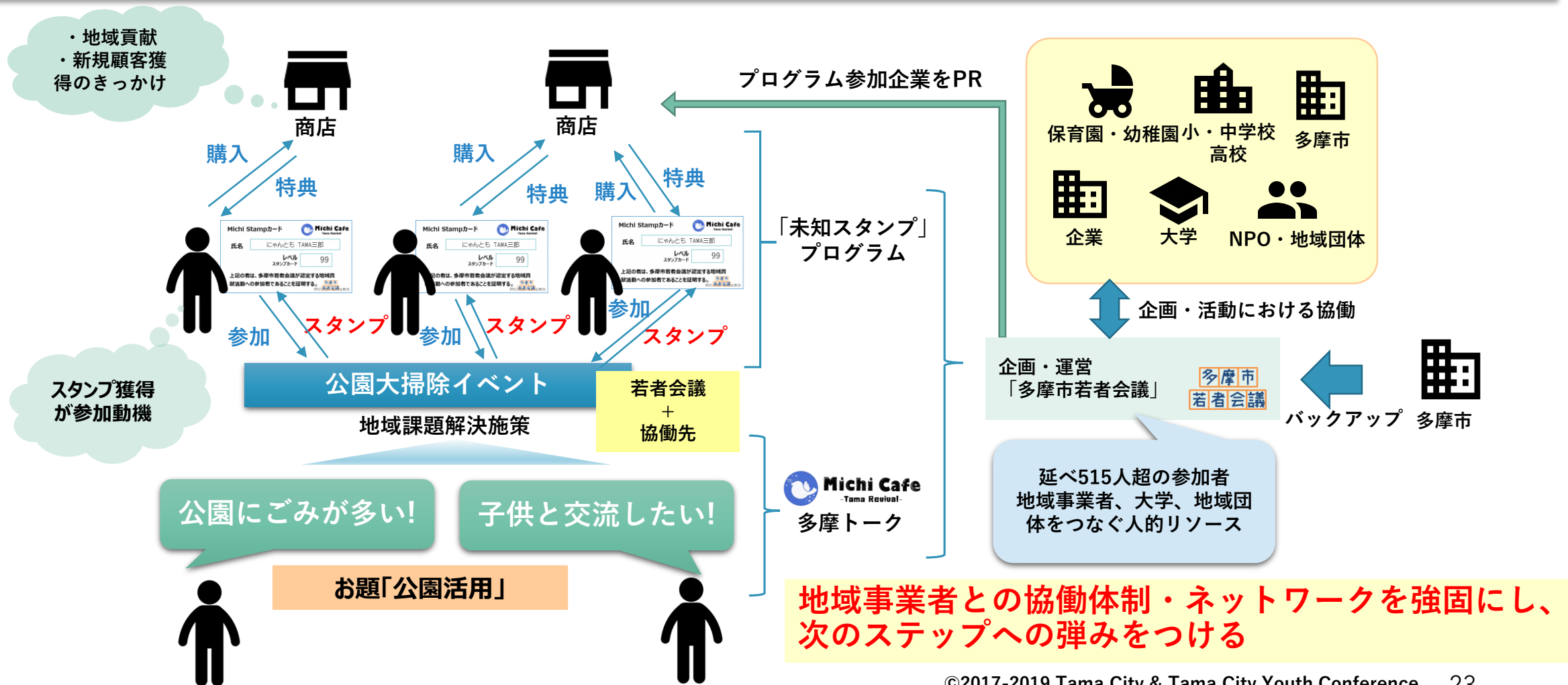
子供と交流したい!

お題「公園活用」

- ワールドカフェ等のファシリテーション手法の活用します。
- 市立中学校のタイアップ授業の経験を生かします。
- 地域課題解決アイデア創発も自走します。
- プロジェクト化のノウハウをまとめ・仕組み化します

3-2.未知スタンプ 「未知スタンプ」

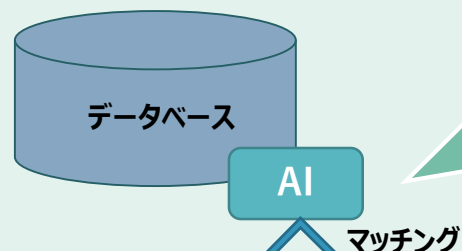
「未知カフェ」に「未知スタンプ」を追加し、地域社会メンバーの皆で地域活動を支える仕組みをつくりまます。「未知スタンプ」は導入が容易で、皆にメリットを享受できる仕組みです。



3-3. 「未知ポイント」+困りごとマッチングシステム 困りごとマッチングシステム

地域社会の構成メンバーの皆が、自身の提供できることを提供し、支え合う事を可能にするマッチングの仕組み(システム・ルール)

困りごと
マッチングシステム



「困りごと」「リソース」と実績データ等を元にAIでマッチングします。

「困りごと」

- ・内容
- ・時間
- ・場所
- ・希望条件

「リソース」

- ・できること
- ・時間
- ・場所
- ・希望条件

「個人属性・実績」

- ・過去実績・評価
- ・趣味
- ・参加地域活動

【AIの活用アイデア】

- 単純に公表された困りごといつもの利用者が能動的に手をあげるだけではなく、AIによる自動マッチングによりプッシュ通知等で近くの適した人にシステム側から解決を依頼する。
- マッチング結果の学習から、目の前の困りごとと認識していない本質的・公益的な困りごとの発見・解消の研究。
例:同じ地区で荷物運びの依頼が多い場合、アラートを出す。結果、依頼の原因となっていた段差の解消を地域に呼びかける等
- 利用パターンの変化から、アラートをあげたり、訪問を促すしくみ。

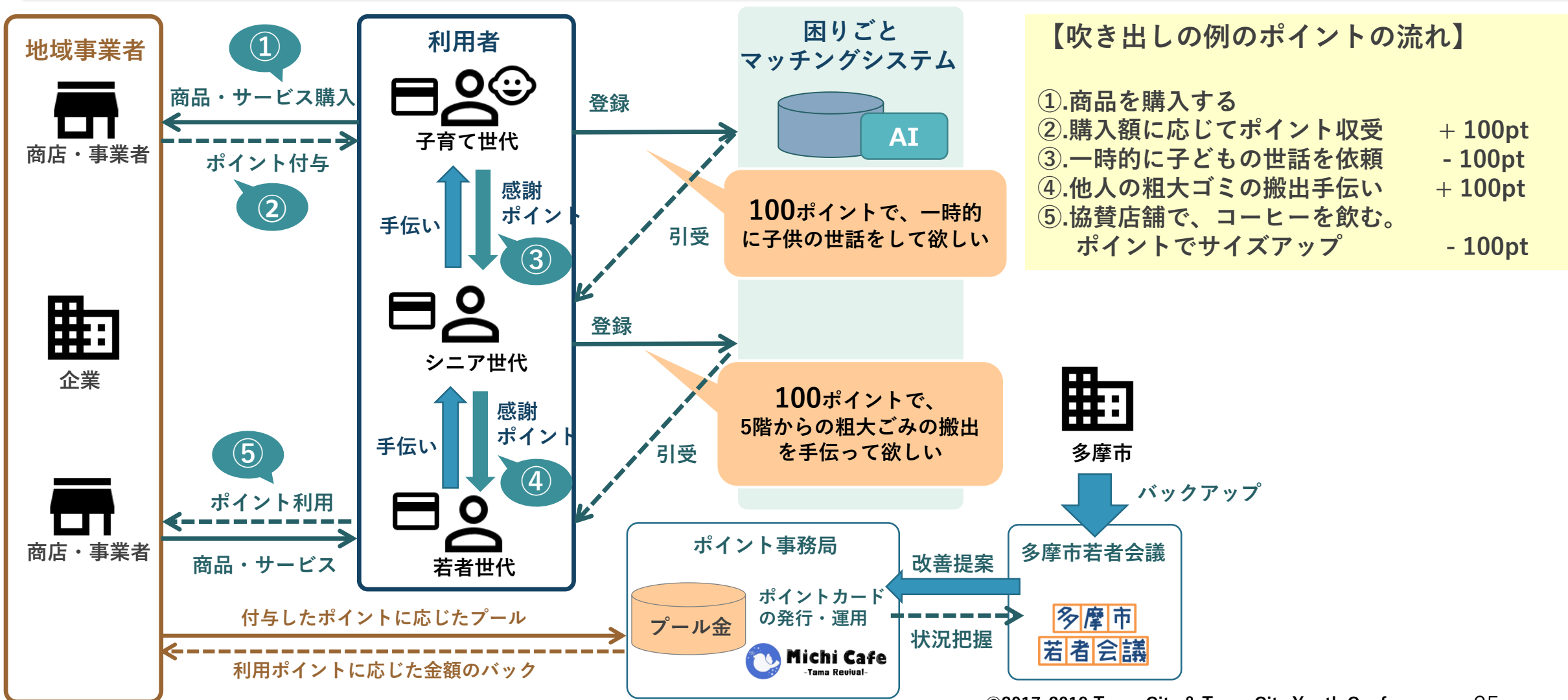
AIの学習や紐づけた分析に使用可能なオープンデータの公開を市に提案していきます。

UIはスマートフォンアプリを想定

AIで適した解決相手と結びつける

3-3. 「未知ポイント」 + 困りごとマッチングシステム 全体構成

「未知ポイント」を追加、感謝ポイントは地域の協賛店での支払いに利用できます。



3-3. 「未知ポイント」+困りごとマッチングシステム 「未知ポイント」導入の理由

地域の支え合いを1:1だけでなく、複雑に支え合う仕組みを支えるコミュニティ通貨です。

マッチングのメリット

ポイントなら少額でも感謝の気持ちを伝えやすい

支え合いの仕組みへの参加意欲向上

地域・協賛店舗のメリット

ポイントになると地域に困り込める(地域通貨の性質)

ポイント付与・利用による地域活性化への貢献

新規顧客獲得のきっかけ

ポイント利用による売り上げUP

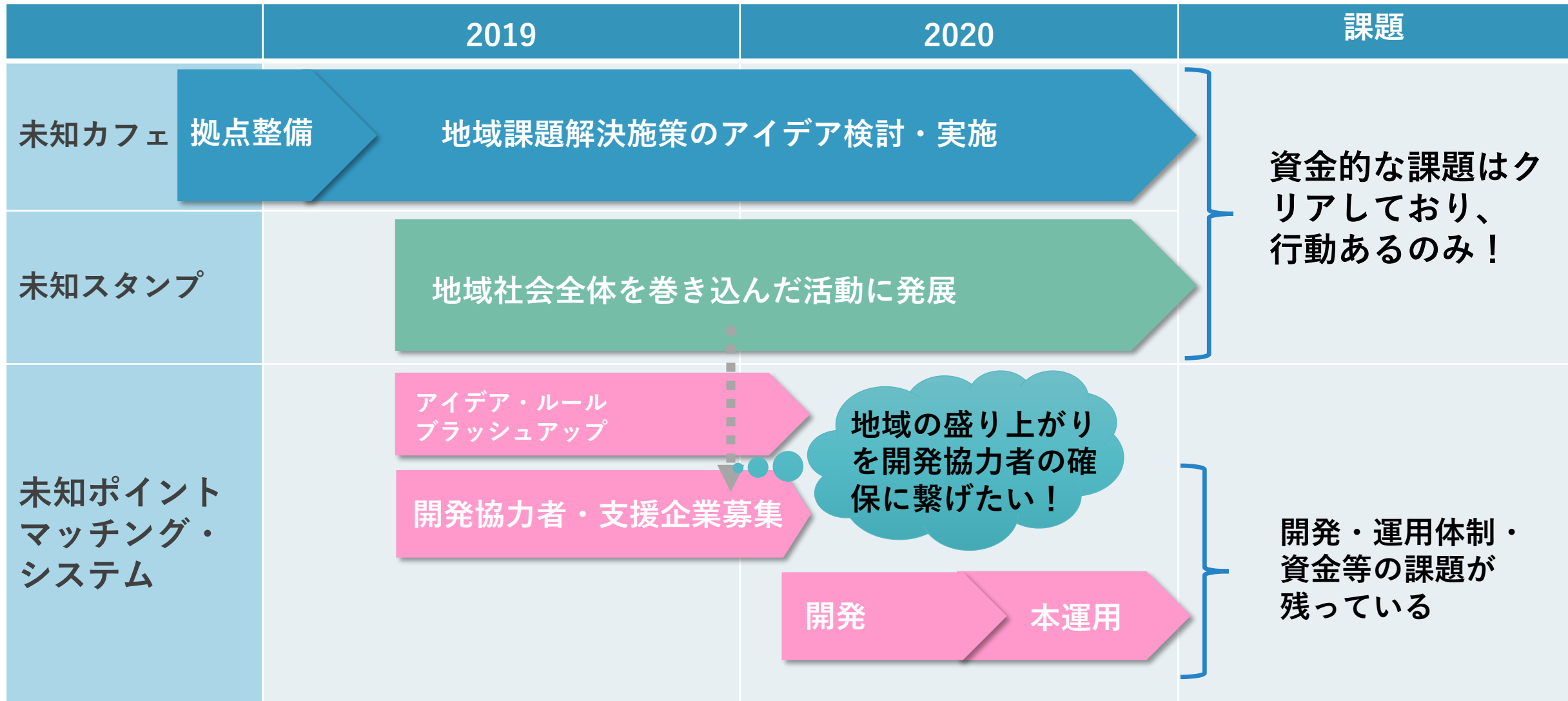
マッチングシステムが地域の細かな困りごとを広く拾える縁結びの機能を果たし、感謝の想いを域内消費に変換する地域経済の活性化と、きめ細かい共助の輪が形成されることを期待。

実現までの流れ

4.



4.実現までの流れ 全体の流れと課題



4-1.実現までの流れ-「未知カフェ」 スケジュール

拠点の整備は完了、今後は多摩トークや多摩トーク発のイベントの開催など企画の立ち上げ進行に注力します。

■スケジュール概要



4-1.実現までの流れ-「未知カフェ」 クラウドファンディングで資金調達

2018年9～11月にReadyforでクラウドファンディングを実施
目標150万のところ、総額215万円超のご支援を頂き、成立！



Readyfor

クラウドファンディングとは はじめる さがす ログイン・登録

クラウドファンディングトップ・地域・まちづくり・多摩の溜まり場 "TAMA REVIVAL" 未知カフェで出会いが生まれる

多摩の溜まり場 "TAMA REVIVAL" 未知カフェで出会いが生まれる

多摩ではじまる。
未知カフェ ~TAMA REVIVAL~

Michi Cafe 多摩市若者会議

支援総額	2,156,000円
目標金額	1,500,000円
支援者数	151人
残り日数	終了しました

購入型 All or Nothing

プロジェクトが成立しました！
このプロジェクトは
2018年11月6日(火)23:00 に成立しました。

資金調達に興味のある方はこちら

いいね! 983 シェア ツイートする B!ブックマーク

プロジェクト概要 新着情報 24 応援コメント 151

2018年12月物件契約



ずっと空室だった
地下室
家賃は破格！

<https://cf.michicafe.jp>

4-1.実現までの流れ-「未知カフェ」 内装DIY

2018年12月～2019年2月に、地域の方にも参加頂きながらDIYで内装工事。
技術面は市内工務店にアドバイスを頂きました。



「未知カフェ」 DIY作業の様子 12～2月

4-1.実現までの流れ-「未知カフェ」 内装完成・オープニングパーティー

2019年2月23日内装工事完成！
クラウドファンディング支援者の方をお招きし、オープニングパーティーを開催しました。



多摩市長にもお越し頂きました！



4-1.実現までの流れ-「未知カフェ」 地域の商店・事業者との協働

地域事業者との協働、ネットワークづくりの活動として、多摩コミュニティビジネス交流会と交流会を共同開催(3/27予定)します。

「未知プラットフォーム」の説明も行い、「未知スタンプ」プログラムへの参加・協力の呼びかけもを行います。

多摩市若者会議
×
多摩コミュニティビジネス交流会
合同交流会のご案内

2019年
3月27日 水 19:00-22:00

2017年に発足し「若者世代が住みたいまち多摩市」をつくるために奔走している「多摩市若者会議」と、多摩市の地域課題をビジネスで解決したいと同じ志をもつ起業家たちの集いの場である「多摩コミュニティビジネス交流会」が合同で交流会を開催することになりました。一緒に多摩の未来を語り合いませんか？

場 所：「未知カフェ」
多摩市若者会議が経営する
「まちづくりカフェ」
多摩市関戸6-6-16

参加費：3,500円（税込み）
※参加団体による活動紹介タイムあり



参加にあたっては、下記又はFacebookページよりお申込みください。

多摩コミュニティビジネス交流会事務局
お申込み
お問い合わせ **TEL: 090-3450-6557**
Mail: cbtama.net@gmail.com

4-2.実現までの流れ-「未知スタンプ」スケジュール

企業連携施策の打診やクラウドファンディングの過程で、地域の事業者との関係が構築されつつあり、このネットワークを生かして、地域の商店・事業者への協力をお願いしていきます。

■スケジュール概要

	2019												2020											
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
未知カフェ																								
未知スタンプ																								
事務局																								
加盟店																								

▼コミュニティビジネス交流会 (2019年3月)

▼ルール完成 (2019年4月)

▼ウェブページ公開 (2019年4月)

▼未知スタンプ運用開始 (2019年4月)

- ・ルール整備にあたって、地域の事業者の方との対話の場を設け、ブラッシュアップしていきます。
- ・対話の場として、「多摩トーク」イベントの開催も検討しています。

4-2.実現までの流れ」 「未知スタンプ」

地域の方の参加を募ったイベント、若者会議の延べ515人の参加者のネットワークを生かし、予算を掛けず運用します。

■ 「未知スタンプカード」

- ・ 家庭用プリンターやラミネーターなどを使い、手作りを想定しています。
- ・ 「未知カフェ」でカード作りイベントを開催し、地域の方との交流やスタンプカードの広報の場とします。

<表面>

Michi Stampカード  **Michi Cafe**
-Tama Revival-

氏名

レベル 枚目
スタンプカード

上記の者は、多摩市若者会議が認定する地域貢献活動への参加者であることを証明する。
 多摩市若者会議
押印は無効

<裏面>

スタンプが全てたまったら未知カフェで次のカードを受け取ってください。

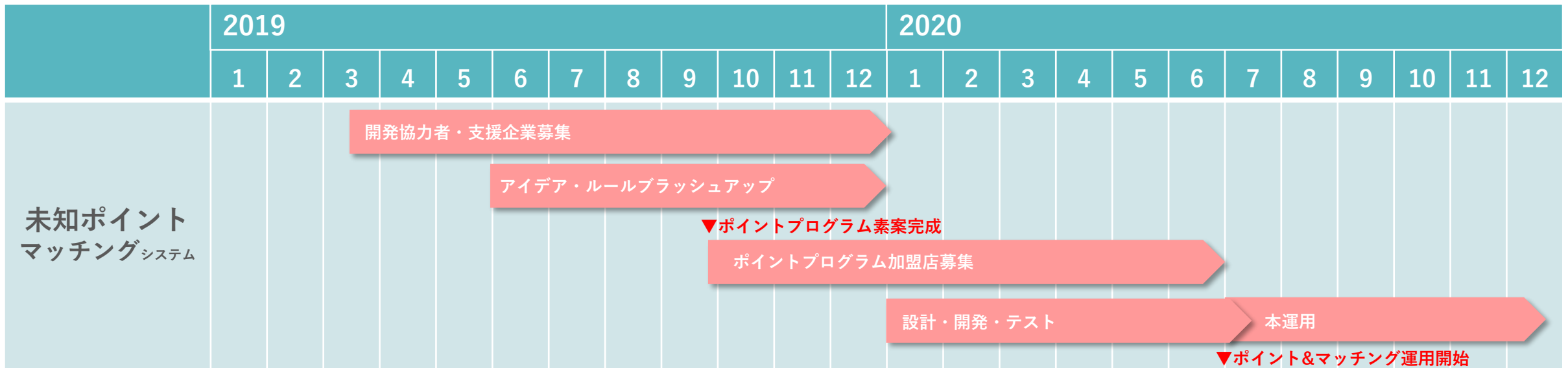
■ ウェブサイトの構築・運用

- ・ ウェブサイトは若者会議メンバーのITエンジニアを中心に、若者会議メンバーのネットワークを活用し、広く協力を求めながら、製作・運用します。

4-3.実現までの流れ

「未知ポイント」 + 「困りごとマッチングシステム」

当面は「未知カフェ」 + 「未知スタンプ」を立ち上げながら、開発協力者や支援企業を募る事に注力します。



- ・アイデアのブラッシュアップの為、「多摩トーク」イベントを開催して、地域の方の意見を取り込みます。
- ・マッチングの仕組みの整備にあたって、地域でのマッチングの実験を検討します。

4-4.実現までの流れ 近隣大学生の半強制的巻き込み

近隣大学在学中の学生へアプリ試行導入とインセンティブとなるポイント付与など積極的かつ効果的に巻き込みます。

- 大学生に積極的に未知ポイントを付与し、地域で消費したり、この仕組みの実践者になってもらうことから始めます。
- 地域の側に見守りやイベントに学生が増えた印象をもたらすことで協力事業者の増加やオープンデータ等関連データの流通量を増やしたいと思わせる機運を高めます。

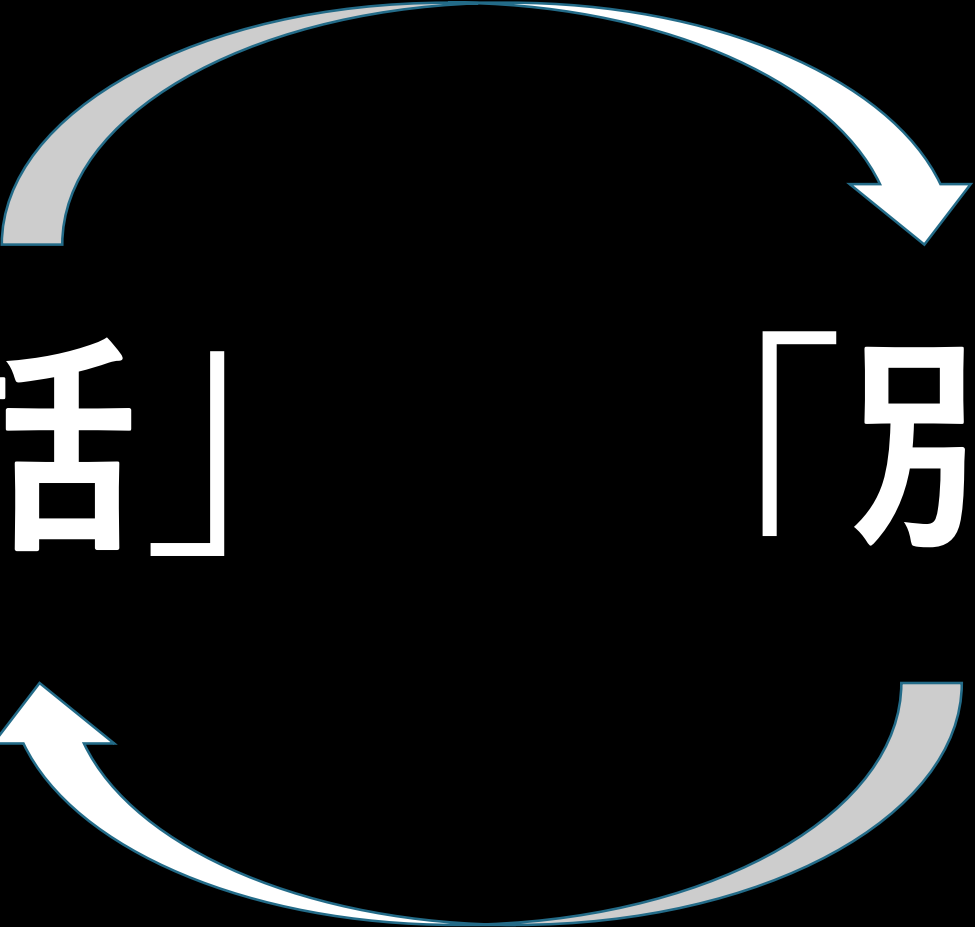


4-4.実現までの流れ 全体スケジュール



自治体連携状況(多摩市役所)

5.



「対話」 「別れ」

2017年度から3年間、市として「若者のまちづくり」事業実施

ワークショップ フィールドワーク のべ参加者

2017

4回

1回

515人

コアメンバー会議

15回

×35人

2018

5回

1回

55,667人
2/1現在 UNDER40

40回

会議 250時間超

3,850人時間

→プロジェクト実践

2019

データに加え、地域課題や地域人脈との連携

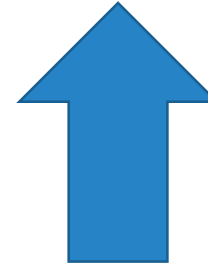
応募チーム

多摩市若者会議

自治体

多摩市

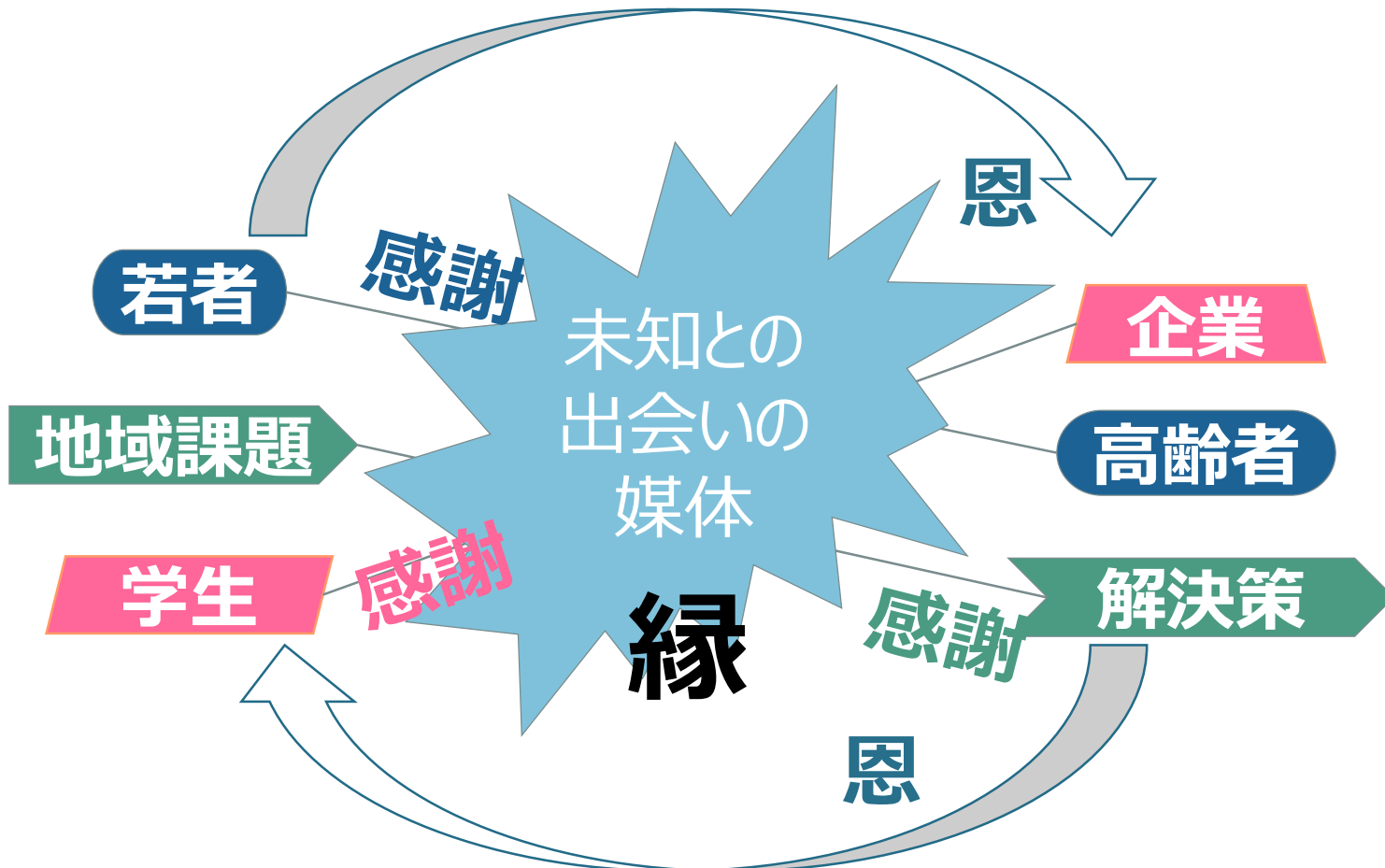
追加データ
地域課題の紹介



地域・企業との
連携サポート

毎月公開の人口等オープンデータ

多摩市若者会議 といえば「未知プラットフォーム」



感謝と恩を取り持つ縁

ライフステージが変わっても
多摩ニュータウンにとって
必要な人財・プラットフォームに

「若者にとってやりたいこと
が実現できるまち」

